

食文化の継承と多様な暮らしに対応した食育の推進

事業実施主体:八頭町(鳥取県)

○ 八頭町は、「みんなで作る・食べる喜びを味わおう」、「地元の食材を知り、利用しよう」、「じげ(自家)の味を伝えよう」、「性別に関わらない食生活の自立」等を目標に、「食からはじめる男女共同参画～食べることは生きること～」と題して「第13回八頭町男女参画フェスティバル」を開催した。

○ フェスティバルでは、食文化の保護・継承のため、小学生を対象とした伝統料理の料理教室や「男女共同参画と食育」をテーマにした講演会を開催した。

鳥取県



八頭町

【取組の内容】

「第13回八頭町男女参画フェスティバル」の開催

○ 料理教室の開催

地元の特産物や食材を使った伝統料理を調理し、試食を行った。講師からは米の栽培、蕁の伝統的な利用等についての説明もなされた。



料理教室の様子

○ 講演会の開催

家族そろって食事を楽しむ大切さ、性別に関わらず食生活の自立を図る大切さ、五感・責任感、思いやりなどの点で調理体験が児童の発達に良い影響を及ぼすことなど、家庭での食育に関する講演がなされた。



食育料理研究家による講演

【取組の成果】

○ 料理教室での調理の様子は、保護者や一般町民に公開され、伝統料理への興味を高めることができた。また、教室に参加した小学生の保護者より、「父親と一緒に夕食を作ってくれた。」「習った伝統料理を作ってくれた。」などの報告があり、性別を問わず積極的に食に関わり、伝統料理を継承する町民の増加が確認できた。

○ 講演会后、「毎日の食育習慣がいかに大切かよく分かった。孫に伝えたい。」「小さい時から自分で料理する大切さを学んだ。」などの声がきかれ、食育への関心を高めることができた。

○ 事業実施後のアンケート結果(抜粋)

伝統的な料理を伝える必要がある
93%→96%



煎り豆ごはん 豆腐とこんにゃく田楽等